

各 位

上場会社名	株式会社 カーメイト
代表者	代表取締役会長兼社長 村田 隆昭
(コード番号)	7297)
問合せ先責任者	取締役兼常務執行役員 塩沼 忠志
(TEL)	03-5926-1211)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,416	98	2	△43	△5.79
今回発表予想(B)	8,002	516	342	30	3.99
増減額(B-A)	586	417	339	74	
増減率(%)	7.9	425.1	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	7,080	271	150	83	11.04

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,630	1,073	834	438	57.72
今回発表予想(B)	17,094	1,354	1,063	453	59.71
増減額(B-A)	464	281	228	15	
増減率(%)	2.8	26.3	27.4	3.4	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	15,791	1,124	855	514	67.66

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,396	△41	△1	△27	△3.56
今回発表予想(B)	7,089	481	443	139	18.40
増減額(B-A)	693	522	444	166	
増減率(%)	10.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	6,222	96	78	69	9.18

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,400	570	550	255	33.59
今回発表予想(B)	15,064	1,044	964	414	54.48
増減額(B-A)	664	473	413	158	
増減率(%)	4.6	83.0	75.1	62.2	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	14,001	608	519	253	33.31

修正の理由

1. 連結業績予想について

(1) 第2四半期累計期間

第2四半期累計期間の売上高の修正は個別業績予想の修正に加え、(株)オールライフメイトの3棟目の有料老人ホームの入居率が当初計画を下回ったことによるものであります。

損益につきましては個別業績予想の修正に加え、快美特汽車精品(深セン)有限公司(中国)が利益が増加しましたが、(株)オールライフメイトの損益は未達となり、その結果、前回予想に対し営業利益は425.1%増加の516百万円、経常利益342百万円(前回予想は2百万円の経常利益)、四半期純利益30百万円(前回予想は43百万円の四半期純損失)となりました。

#### (2) 通期業績予想

通期の売上高は個別業績予想の修正に加え、(株)オールライフメイトの売上が伸び悩むため、前回予想に対し2.8%増加の17,094百万円を予想しております。

損益につきましては、快美特汽車精品(深セン)有限公司(中国)は引き続き堅調に推移することが予想されます。(株)オールライフメイトは有料老人ホームの3棟目の入居率が当初計画を下回るため利益は減少します。これらの要因に個別業績予想の修正を加え、前回予想に対し営業利益は26.3%増加の1,354百万円、経常利益は27.4%増加の1,063百万円、当期純利益は3.4%増加の453百万円と予想しております。

## 2. 個別業績予想について

### (1) 第2四半期累計期間

第2四半期累計期間の売上高は積極的な販売促進活動を行いチャイルドシート、芳香剤・消臭剤、リモコンエンジンスターターなどが堅調に推移し10.9%過達の7,089百万円となりました。

営業利益につきましては売上高の増加により粗利益が増加し、また原価削減に努めた結果、原価率の改善があり481百万円(前回予想は41百万円の営業損失)となりました。経常利益につきましては為替差損の計上もありましたが営業利益の増加をうけて443百万円(前回予想は1百万円の経常損失)、四半期純利益につきましては投資有価証券評価損を計上し、法人税等を計上した結果139百万円(前回予想は27百万円の四半期純損失)となりました。

### (2) 通期業績予想

通期業績予想につきましては、後半当社を取り巻く経営環境は厳しい状況で推移するものと思われま。売上高につきましては概ね上期業績予想を修正したことによるものであり前回予想に対し4.6%増加の15,064百万円となる予想であります。

損益につきましては上期業績予想修正と金型費用等の一部追加によるものであり前回予想に対し営業利益は83.0%増加の1,044百万円、経常利益は75.1%増加の964百万円、当期純利益は62.2%増加の414百万円と予想しております。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上